

「石のまち。うつのみや」大谷石建築と石蔵集落を巡るバスツアー 報告

生産地から建築群まで 「大谷石」の魅力が堪能

NPO法人 大谷石研究会
会員 佐藤 信明

3月26日、8倍もの応募者の中から当選した38名の参加者と、案内役のNPO法人大谷石研究会会員を乗せた本隊車と随行車の2台で、宇都宮市役所からまず大谷地区に向かった。

午後は、昨年度「宇都宮まちなみ景観大賞」を同時に受賞した、宇都宮市街東部の田園地帯にある上田地区へ。ここは平地の集落で、南北に伸びる道路を挟んで大小90棟の大谷石建築が見られる。道の両側の用水路は各家で利用するために作られたもので、小さな水車も見られ、広く感じられる道をゆつたりとした気分が散策できた。

所、離れなどバラエティに富んでおり、工法も張り石、積み石など明治以降次々と建設されて今日の景観を形成している。参加者も十分に堪能できたのではなかつたか。

次は大谷資料館へ。地下の採掘場跡に歩を進めることに、地上との温度差を実感しつつ各自それぞれのペースで巨大な地下空間を巡る。手掘り、機械掘り両方の切り出し方の違いがよく判る箇所もあり、当時の作業の労苦に思いを馳せる。

「次回も参加したい」と全員が希望するほどの好評のうちに春のバスツアーを終えることができた。



渡辺邸「屏風岩石蔵」



大谷石採掘場



上田地区の水路歩く参加者

会員通信

大谷石をふんだんに使用した事務所が完成

NPO法人 大谷石研究会
会員 高橋 卓

平成23年3月11日に発生した地震により、大谷石造の弊社事務所は他にもれず甚大な被害を受け使用出来なくなりました。震度6強でした。

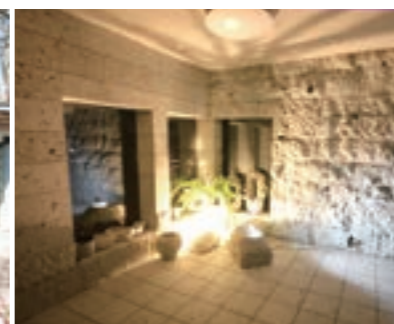
急きょ仮事務所を設置し、「まずはお客様から…」と後回しにしていたらあつたという間に5年が経ってしまいました。

「どうせ改修するなら大谷石施工の見本に…」と、床内壁・外壁にはすべて大谷石貼石、天井・トイレには大谷石の粉を使用した塗り壁材「大谷塗」にて施工しました。特に、大谷石の新たな活用の環として開発された「大谷染石」はふんだんに使用しました。現在当会会員のKBR小堀様と共同開発中の「大谷岩壁」も実験的に施工してみました。

天然の大谷石に囲まれた空間は、人工的・化学的に製造された素材とは全く異なった暖かさを感じます。ぜひお気軽にお越し下さい。



2011年東日本大震災直後の弊社事務所



内装：壁「大谷岩壁」(事務所内部)



外装：「大谷染石」(リフォーム後)

大谷石文化財を日本遺産申請へ

宇都宮市では、「平成28年度施政方針『歴史文化基本構想』を策定し、大谷石など、本市の歴史文化の保存活用指針を定め、「日本遺産」への登録を目指してまい

ります」と掲げています。佐藤栄市長は1月21日の定例会見で「ストーリーをつくってわかりやすく、市内外の方々にも理解できるようにしたい」と話しました。

大谷石文化財を日本遺産申請へ

教会、磨崖仏、奇岩群

宇都宮市、17年度内に構想



カトリック松が峰教会

下野新聞1月22日

マッチング事業始動

(NPO法人 大谷石研究会 理事 武井 貴志)

宇都宮の市街地には300を超える石蔵が眠っています。一昨年の宇都宮まちづくり推進機構の調査で、この10年でも2割ほどの蔵が取り壊されてしまった事が判明しました。

無くなる前に活用を。中心市街地の賑わい創出に取り組む同機構は、空き家や空き店舗となっている歴史的建物の所有者と飲食店やギャラリーなどを出店したい人を結ぶ「マッチング事業」を始動します。関心のある方はぜひお問い合わせを!!



下野新聞3月20日



マッチング事業の第1号として借り手を募集している戸祭元町の大谷石蔵



旧篠原家住宅



大谷磨崖仏



大谷奇岩群

NPO法人大谷石研究会のホームページ
<http://www.ooyaishi.org/>
コンテンツ盛りだくさん



大谷石研究会とは、大谷石の歴史と魅力・全国の大谷石の建造物・最近の使用例・石蔵や大谷石の活用例・大谷石の工法と保存・活動報告ブログ・会報誌(バックナンバーがダウンロードできます)



大谷石 東西南北

喧噪の御堂筋近くのゆったり空間

(NPO法人 大谷石研究会広報担当 平沼 隆志)

大阪・南船場地区は、中心部とはいえ、難波、心齋橋などの盛り場とは違った趣の街。小じゃれた飲食店、衣料品店などが点在している。その街中でも特徴的な存在が、大谷石をふんだんに使ったこの店舗。衣料、雑貨、食品などを独自の目で集めたセレクトショップにカフェを併設している。



4月末の休日の午後に訪ねてみると、カフェはほぼ満員。セレクトショップの中では、夫婦あるいはカップルのような二人連れ

れ数組が品選びを楽しんでいた。一筋東にある大動脈の御堂筋は車が絶えない。そんな喧噪の近くにありながら、ゆったりと時を過ごせる空間を目指したようだ。そんな店づくりには大谷石が打ってつけなのだろう。

店名は「URBAN RESEARCH DOORS南船場店」。全国的なチェーン店の一つであり、他にも大谷石の使われた店があるようだ。

